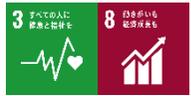


(様式第3号)

SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)

企業・団体等の名称
医療法人社団哺育会 白岡中央総合病院

分野	番号	取組の参考例	主なSDGs関連ゴール	自ら率先して取り組む具体的な内容 (国、県、市町村の登録制度や認定制度がありましたら御記載ください。)
① 人権・労働	1	【差別・ハラスメントの禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別・ハラスメントがないことを確認している。		○ハラスメントについては、防止規定の作成やハラスメント相談窓口を設置し対応している。
	2	【労働時間・安全衛生・メンタルヘルス】 ・作業中の事故等を防ぐため、長時間労働の防止に取り組み、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。また、メンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる。		○時間外労働の削減と有給休暇の取得について、定期的にモニタリングを行い、計画的に取り組んでいる。
	3	【多様な人材】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。		○障がい者雇用6名、外国人技能実習生6名の受け入れを行っている。
	4	【人材育成】 ・能力開発、教育訓練の機会を企業・団体等の従業員・職員等に提供している。		※多様な働き方実践企業認定制度 2015年3月27日 ゴールド認定取得済
	5	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。		
② 環境	6	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握と対策計画の策定・取組】 ・企業・団体等が活動するうえで、エネルギー使用量、温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。		○クールビズの実施。
	7	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる。		○100%再生紙のトイレトーパー、ペーパータオルを利用している。
	8	【生物多様性】 ・企業・団体等の活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している。		○空調電力効率化システムの利用。
	9	【3Rの推進】 ・リデュース(減らす)、リユース(繰り返し使う)、リサイクル(再資源化する)に取り組んでいる。		○電力使用量のモニタリングを行い、節電などの呼びかけを行い、職員ひとり一人の省エネルギーに対する意識づけを行っている。
	10	【再生可能エネルギーの利用】 ・太陽光パネルの設置や使用エネルギーの契約内容を見直すことなど、再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。		○【予定】コピー用紙の使用枚数について、目標値を設定し、使用量削減を行う。

分野	番号	取組の参考例	主なSDGs関連ゴール	自ら率先して取り組む具体的な内容 (国、県、市町村の登録制度や認定制度がありましたら御記載ください。)
③ 公正な事業慣行	11	【汚職・贈収賄防止、公正な競争、個人情報保護】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針、不正な行為に関与しない方針を掲げ、企業・団体等内部の従業員・職員等に周知している。個人情報を適切に管理している。		○物品の発注及び納品については中央管理とし、担当部署が一元的に管理を行っている。 ○個人情報保護管理規定を定め、年1回程度の研修を定期的に行っている。
	12	【フェアトレード】 ・発展途上国などで作られた作物や製品について、認証された品物のみ取り扱うなど、適正な価格で取引している。		
	13	【生産・物流・販売の管理】 ・サプライヤー(仕入れ先)、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる		
④ 製品・サービス	14	【商品・サービスの安全性、品質保証】 ・取扱商品やサービスの安全性を確保するための仕組み、品質のよい商品やサービスを提供するための仕組みを構築している。		○21の診療科を標榜し、地域医療の発展に寄与すべく努力をしている。 ○新型コロナウイルス感染症に対し、陽性患者の受入やワクチン接種事業を行っている。 ○第三者評価(病院機能評価)の継続受審を行い、医療の質の維持・向上に努めている。 ○24時間365日の救急体制を維持し、平均約160件/月の救急受入れを行っている。 ○自院の病院救急車(D-ER)での患者搬送を行い、救急車の適正利用に貢献し、地域の開業医、介護施設等との連携を深めている。 ○【予定】限られた人的資源を効率的に活用するための医療関係職種間の医療提供体制の整備と人材育成。 ※日本医療機能評価機構 初回認定 2005年9月26日 病院機能評価(機能別別版評価項目 3rdG:Ver2.0)
	15	【環境配慮】 ・環境に配慮した商品の取扱い、サービスの提供、製品の開発・設計に取り組んでいる。		
	16	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する商品の取扱い・製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		

分野	番号	取組の参考例	主なSDGs関連ゴール	自ら率先して取り組む具体的な内容 (国、県、市町村の登録制度や認定制度がありましたら御記載ください。)
⑤ 社会貢献・地域貢献	17	【地域への配慮】 ・企業・団体等での活動等が地域に与える影響を把握し適切に対応している。		○埼玉県災害時連携病院、埼玉県地域 DMAT 指定病院の指定病院なり、災害発生時に災害拠点病院と連携し、医療提供を行う体制を整えている。
	18	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。		○【予定】地域住民の健康増進等の目的で、医師の講話による市民公開講座や地域の介護施設に向けた研修会等を拡大していく。
	19	【地域資源】 ・地域資源(地場産)を積極的に利用(地消地産、地産外商)している。		○看護の日(5月12日)に、地域住民に対し無料の健康相談等を行っている。
⑥ 組織体制	20	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標、団体の活動目標等を内部で共有している。		
	21	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが企業・団体内部に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。		○経営理念、目標等は、職員手帳への記載や各部署へ掲示することにより全職員へ周知している。また年度毎に策定する年度方針は、職員全員が集まる年度初めの集会以て病院長より発表することとなっている。
	22	【組織体制】 ・企業・団体活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している。		○院内の規定、マニュアルについては文書化し、院内 LAN を利用し、全職員がいつでも閲覧できる仕組みになっている。
	23	【ステークホルダー(消費者、投資家など及び社会全体)との対話】 ・ステークホルダーとの対話により、企業・団体活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。		○患者満足度調査、職員やりがい度調査を実施し、業務の質改善活動を実施している。
	24	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備する。また、事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している。		○BCP を策定し大規模災害(地震・水害・公共交通機関災害など)発生時でも事業を継続できる体制を整えている。
	25	【社会的責任】 ・CSR(企業等の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる。		

①人権・労働、②環境、③公正な事業慣行、④製品・サービス、⑤社会貢献・地域貢献、⑥組織体制、それぞれの分野について、「自ら率先して取り組む具体的な内容」を御記載ください。今時点で取り組んでいなくても、今後取り組む予定の具体的な内容が記載されていれば登録可能です。その場合、今後取り組む予定のものには、頭に【予定】と御記載ください。本様式は、それぞれの分野でどのような取組を行う必要があるのか参考例を示しており、これらに取り組むことで、SDGsのどのゴールに貢献するのか整理したものになります。勿論、参考例以外を記載していただいて構いません。申請者の皆さまそれぞれがSDGsを自分ごとと捉え、より積極的にSDGsに取り組むことへの参考として本様式を御活用ください。